

R8年度 輪島小学校「つなぐプロジェクト」重点項目

いのちの輪

いのち



①かけがえのない命

すべての生命は、かけがえのないものであることを実感し、大切にする。

👉各学年、道徳の価値項目D(17)「生命の尊さ」で扱うことができる。

③価値ある自分

どのような状況においても、自分の存在を認め、必要とされる存在であることを認識する。

👉縦割り班活動を通して、自己存在感を高める。低学年は、生活科の学習でも扱うことができる。

④夢や希望の大切さ

夢や希望を持つことは、生きる価値を見出すことであり、つらく厳しい状況を乗り越えられることにつながることを実感する。

👉「夢・目標 見つけ・伸ばし・支え」たい！シートの取り組みを位置づける。

⑥心の健康

つらいことや悲しいこと、環境からくるストレスなどを感じた時の対処方法を学び、自分自身で心の健康を維持する。

👉心のサポート授業、Q U等をもとにした個人面談の実施など。

みんなの輪

つながり

⑬地域づくり

郷土の美しい自然、伝統行事、郷土芸能、温かい人のつながりのある社会、安全な町を願い、地域づくりにかかわる。

👉1、2年は生活科、3～6年は総合的な学習の時間の内容を位置づける。
金管鼓隊はここに位置づけることができる。

⑭復旧・復興へのあゆみ

震災・豪雨で被害を受けた交通網や産業、住宅やまちの復旧・復興の状況を調べ、安全で生き生きしたまちづくりにかかわる。

👉6年の総合的な学習の時間の内容を位置づけることができる。

あんしんの輪

そなえ



⑯自然災害発生のメカニズム

自然災害が発生するメカニズムやそれぞれの災害について理解する。

👉4年社会科、6年理科で扱うことができる。

⑰災害時における情報の収集・活用・伝達

震災・豪雨の被害による教訓をもとに、情報の大切さ、情報の収集、選択・判断、発信の方法などについて理解し、活用できるようにする。

👉5年社会科で扱うことができる。その他の学年でも、端末の利用について、正しい知識を得るための学習活動が考えられる。(デジタルシティズンシップ教育との関連)

⑳学校・家庭・地域での日ごろの備え

避難場所や避難方法、避難経路を把握して、安全に非難する。家具の安全対策、避難方法や落ち合う場所、非常時持ち出し品についての正しい理解など、学校や家庭でできる防災対策を行う。地域の防災システムを理解し、防災活動に参加する。

👉輪島市一斉防災訓練

㉑身を守り、生き抜くための技能

危険を予測(回避)し、災害や事故に直面した際に自他の体を守り、被害を最小限に止め、非常時に生き抜く技能を身に付ける。(応急手当や心肺蘇生法、食中毒防止、衣食住に関すること)